

## 佐野短期大学シラバス2014

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
医事情報処理演習 <b>Exercise in Medical Information Processing</b>		1年	集中(前期)	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(ICD・医療事務検定対策)	メディカルクラークユニット履修者のみ
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
介護保険実務論				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
請求実務演習、医療秘書、医事コンピュータ				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
古川 貴子	本館2階	火・水・木・金の9時から16時(授業を除く)		授業中に指示します
授業の概要				
ICDコーディング及び医療事務技能審査試験対策授業である。				
授業の目標				
①ICDコーディング検定及び医療事務技能審査試験の受験資格を得ることができるようにする。 ②DPCとICDの繋がりが理解できるようにする。				
授業の方法				
検定試験を想定した時間配分で過去問題や、オリジナル予想問題を中心に学習し、検定合格を目指す。				
学習の成果(学習成果)				
①ICDコーディング検定及び医療事務技能審査試験の受験に必要な知識を習得することができる。 ②DPCに必要なコーディングの基本を習得することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ICDコーディング検定対策 ①			
第2回目	ICDコーディング検定対策 ②			
第3回目	ICDコーディング検定対策 ③			
第4回目	ICDコーディング検定対策 ④			
第5回目	ICDコーディング検定対策 ⑤			
第6回目	医療事務技能認定試験対策 外来①			

第7回目	医療事務技能審査試験対策 外来②		
第8回目	医療事務技能審査試験対策 外来③		
第9回目	医療事務技能審査試験対策 入院①		
第10回目	医療事務技能審査試験対策 入院②		
第11回目	医療事務技能審査試験対策 入院③		
第12回目	応用問題 I		
第13回目	応用問題 II		
第14回目	接遇・医療法規 1		
第15回目	接遇・医療法規 2		
成績評価の方法と基準			
	評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度		20%	演習問題に積極的に取り組んでいる
レポート			
調査報告書			
小テスト		20%	授業に合わせて随時確認テストを行い、理解度に応じて評価する。
試験		40%	授業の達成目標に掲げた項目の理解度に応じて評価する。
発表内容(態度含む)			
その他		20%	検定試験の合否で加点する。
教科書と参考図書			
ICDコーディング基本テキスト(日本コーディングセンター) 診療報酬早見表(医学通信社) 医療事務医科テキスト1~4(ニチイ学館) 医療事務医科スタディブック1~3(ニチイ学館) 医療事務医科ハンドブック(ニチイ学館)			
履修上の留意点・ルール			
ICDコーディング及び医療事務技能審査試験を受験する場合は必ず履修すること。 電卓を必ず用意すること。			